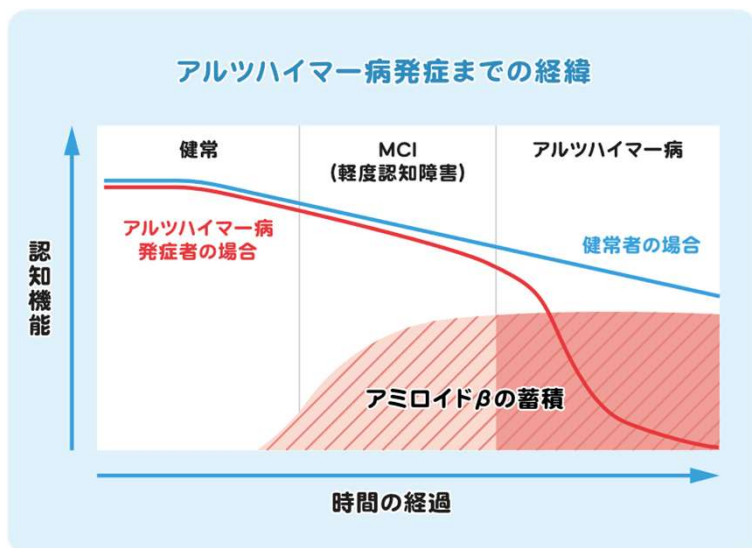


認知症予防のためのリスク検査 MCIスクリーニング検査プラス

＜ MCIスクリーニング検査プラスとは？ ＞

認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)のリスクを調べることの出来る血液検査です。軽度認知障害(MCI)は、健常者と認知症の中間の段階を指します。通常の日常生活には問題は有りませんが、認知症の予備軍とも言われ、そのまま放置されると5年で50%近くが認知症に進行してしまうと言われております。

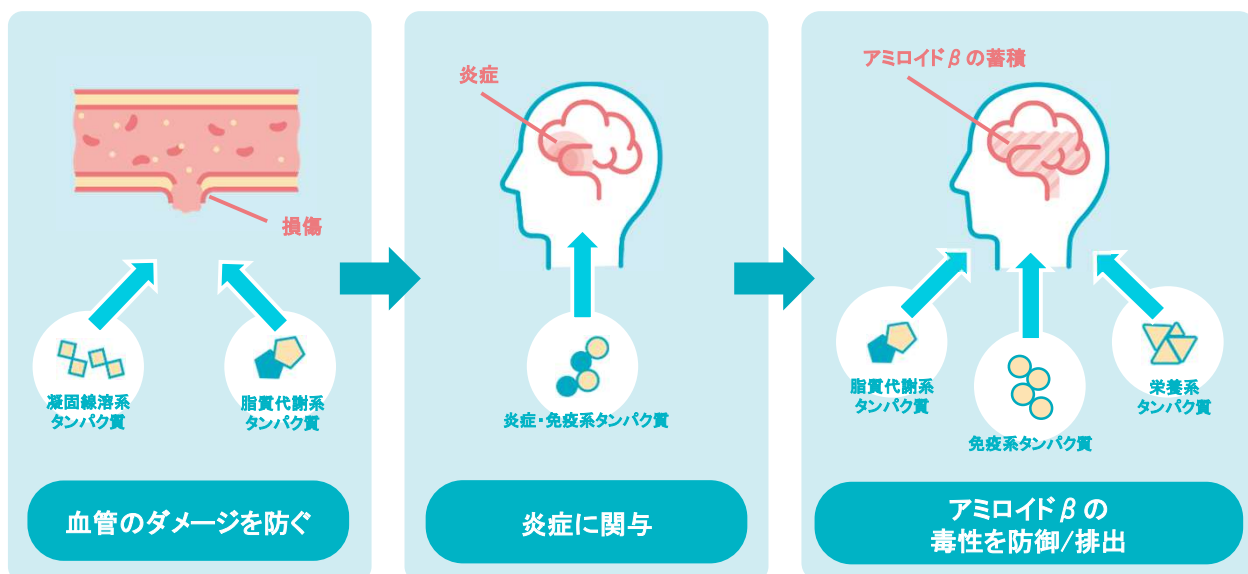


しかし、MCIの段階で適切な予防や治療を行えば認知症の発症を防ぐこと、遅らせることが可能と言われており、MCIの段階での対処は認知症予防の上で非常に重要です。



＜ MCIスクリーニング検査プラスの特徴 ＞

アルツハイマー型認知症発症の主な原因の一つとされるアミロイドβは老化や生活習慣の乱れにより脳内に蓄積されていきます。本検査では、血管損傷や炎症、アミロイドβの排出等に関わる9つのタンパク質を「栄養」「脂質代謝」「炎症・免疫」「凝固線溶」の4つのカテゴリーに分類し血中量を測定することでMCIのリスクを評価しております。



MCIスクリーニング検査プラスで早期にMCIのリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防につなげていただけます

<報告レポートイメージ>

テスト タロウ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

リスク評価

あなたのMCIリスク値 **1.58**

▼今日 ▲前日 ▲前々日

MCIのリスクは高めます。専門医による詳細な検査を受診し、適切な指導を受けられることをおすすめします。

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を意識的に習慣づけることで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り組みはじめるのが効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な日常生活を心がけることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、着実に予防に取り組みましょう。物忘れが気になる方は専門医に診てもらいましょう。
D	1.51~2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】専門医による詳細な検査を受診し、適切な予防を受けられることをおすすめします。

※高齢の方には一般的に5歳以上の方を指します。

当検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

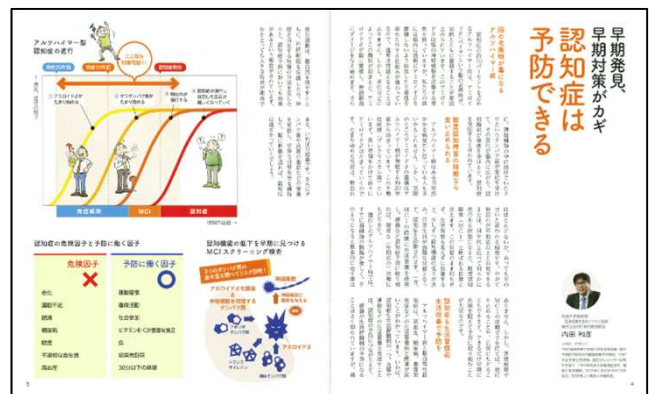
カテゴリー	リスクレベル
良好	0.0 ~ 2.2
注意	3.3 ~ 6.5
要注意	6.7 ~ 10.0
栄養剤	3.1
胎児代謝剤	4.9
炎症・免疫剤	2.7
薬物治療群	3.9

イメージキャラクター「きづきちん」

検査を終えて

MCIや認知症の予防は生活習慣の見直しが一番大切だと言われています。同時に「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣サイト」を参考に予防に取り組みましょう。次回は2022年の6月頃を自覚に検査を受けましょう。

9つのタンパク質の測定値をもとに統計的手法でMCIのリスクを評価します。判定結果はA~Dの4段階にて報告致します。受診後のフォローには認知症予防のため別冊資料も提供させていただきます。



検査項目名	MCIスクリーニング検査プラス
検体量	血漿(2mL以上)
容器	EDTA-2Na採血管
保存(安定性)	採血後、常温/冷蔵24h以内に遠心分離し、血漿を分注凍結し提出
報告期間	検体受領から20日
測定・解析機関	株式会社MCBI
検査方法	LC-MS 法
備考	すでに認知症と診断されている方は検査対象外となります。 また急性炎症が認められる方、肝硬変の方、先天的脂質異常症の方、自己免疫性疾患をお持ちの方は判定結果に影響する可能性がございます。前述の治療薬を服用されている場合も、判定に影響がある可能性がございます。

参考文献:

- Uchida, K, Liu, S, et al. Amyloid-β sequester proteins as blood-based biomarkers of cognitive decline. *Alzheimers Dement (Amst)* 270-280 (2015)
- Liu, S, Uchida, K, et al. Serum levels of proteins involved in amyloid-β clearance are related to cognitive decline and neuroimaging changes in mild cognitive impairment. *Alzheimers Dement (Amst)* 11, 85-97 (2019)
- Zlokovic, BV. Neurovascular pathways to neurodegeneration in Alzheimer's disease and other disorders. *Nat. Rev. Neurosci.* 12, 723-738 (2011)
- Sweeney, MD, et al. Vascular dysfunction-The disregarded partner of Alzheimer's disease. *Alzheimers Dement* 15, 158-167 (2019)
- Montagne A, Zlokovic BV, et al. APOE4 leads to blood-brain barrier dysfunction predicting cognitive decline. *Nature* 581,71-76(2020)